

## 大会開催時における注意事項

### (1) 参加者への事前注意事項

- ・発熱、咳、倦怠感などの風邪症状および味覚嗅覚を感じない者の参加を認めない。また、14 日以内に感染者との接触や濃厚接触者と特定された者も参加を認めない。
- ・過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合は参加を認めない。
- ・選手、チーム関係者、役員、審判員は球場に入る際、必ずマスクを着用すること。また、試合時の攻守交替決定時や大会運営側ならびに審判員からの諸注意をチームに伝える場合は、各々マスクを着用して行う。
- ・手洗い、うがい、マスク未着用時の咳エチケットの励行。
- ・大会当日、参加者全員の健康状態と連絡先などが明記されている健康チェックシートを提出する。提出のタイミングはオーダー表交換時にオーダー表と一緒に提出する。
- ・施設内における唾、痰を吐く行為を厳禁とする。
- ・感染者が発生した場合には、大会を即中止とする。
- ・大会参加者に感染が判明した場合には、参加者名簿を関係機関に公表する場合がある。

### (2) 参加者の対応

- ・参加者は検温を実施し会場に来ること。
- ・参加者(チーム代表者)はオーダー表と一緒に健康チェックシートを大会本部に提出する。
- ・人との距離を 2 メートル確保する。ベンチ内では一定間隔を保つよう努力する。
- ・全選手が密集・密接する円陣や声出し、整列などは控える。
- ・目、鼻、口に極力触らないよう心掛ける。
- ・こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施する。
- ・プレー中に必要以上に大きな声で会話や応援等はしばらくの間は我慢する。
- ・タオル、ペットボトル、コップ等の共有は避ける。
- ・チーム内および大会において、感染者が発生した場合は、チームの活動停止ならびに大会の即中止とする。
- ・活動後 2 週間以内に新型コロナウイルス感染症に感染した場合は、速やかにチームに連絡する。チーム責任者は活動後にチーム内に感染者が出た場合、福島県野球連盟に報告する。
- ・競技中のマスク着用については、選手、審判員の判断とするが、ベンチ内に居る時には、

全員がマスクを着用することを推奨する。ただし、熱中症予防に配慮する。

\*福島県野球連盟では、審判はマスク着用することが望ましいが、軟式野球の競技環境および競技の特性を考慮し、選手ならびに審判のマスク着用の義務付けは行わない。

- ・肌が触れ合うハイタッチなどは行わず、各々コミュニケーション方法を模索する。
- ・ゴミは各自持ち帰る。
- ・応援者については、観客席が「密」にならないように、一定の距離を保って観戦するようにチームごとに応援者に注意喚起を行う。なお、運営側でも、入口などに貼り紙を行ったり、放送による呼びかけを実施したりする。体調が悪い場合は入場を自粛する。

### (3) 運営側の対応

- ・健康チェックシートを作成し、大会当日に提出を求める。
- ・参加チームだけではなく、大会運営スタッフや審判員にも健康チェックシートの実施を行う。
- ・試合会場には、消毒液などを設置する。
- ・選手やチームを集めるなど、密集することがないように配慮すること。試合前の整列は、監督またはキャプテン同士の挨拶とし、両チームが整列することを省く。
- ・万が一、感染者が発生した場合には、福島県野球連盟に速やかに報告する。  
また、福島県野球連盟は、全日本軟式野球連盟に報告する。
- ・チーム内および大会において、感染者が発生した場合は、チームの活動停止ならびに大会の即中止を判断し、関係者に連絡する。
- ・万が一、感染者が発生したとしても、その者を誹謗中傷したり、非難したりすることが無いように配慮する。
- ・観客が入る場合は、密集・密接にならないように配慮すること。大声での応援なども控えるように協力をお願いする。